

市長	副市長	教育長	教育次長	課長	館長	課長補佐	係長	記録

【所属名：教育委員会文化振興課（博物館）】
【会議名：糸魚川市博物館協議会 全体会】

開示
一部開示 (理由:条例第 条第 号 該当)
不開示
時限不開示 (開示: 年 月 日)

会 議 録

作成日 平成 25 年 6 月 11 日

日	平成 25 年 5 月 30 日	時間	14:00 ~ 16:00	場所	フォッサマグナミュージアム 体験学習室
件名	議題(1) 報告事項 1 ~ 6 (公開) 議題(2) 協議事項 平成 24 年度博物館協議会の活動計画 (公開) 平成 24 年度事業計画、活動計画 (公開)				
出席者	【出席者】 7人 専門部会 梶座副会長 天野委員 運営部会 片山会長 伊藤委員 岩崎委員 小野委員 中村委員 【欠席者】 3人 専門部会 大塚委員 松岡委員 運営部会 大西委員 【事務局】 博物館 田村館長 宮島参事(館長補佐) 竹之内館長補佐(学芸係長) 山本係長(業務係長) 茨木主査 山崎主任主事				
	傍聴者定員		人	傍聴者数	0人

会議要旨

1 開会(14:00)

【事務局】 館長あいさつ

2 議題

(1) 報告事項

【事務局】 報告事項 1 ~ 4 について説明。

- ・報告事項 1 平成 24 年度博物館協議会の活動について
- ・報告事項 2 入館状況について
- ・報告事項 3 ミュージアムショップ運営状況について
- ・報告事項 4 博物館諸活動(業務係担当分)について

報告事項 5 について説明。

- ・報告事項 5 博物館諸活動(学芸係担当分)について

報告事項6について説明。

・報告事項6 博物館リニューアルについて

質疑

【会 長】 入館者の増加については、他の博物館の入館者が減っている中で、良く頑張っている。ショップの売上についても努力が認められる。ジオパーク認定によって売れなくなったものがあったとしても、よく頑張っている。それについて説明してもらいたい。学芸員の努力も認められる。ショップの売り上げについては（標本の販売をとりやめたことにより）もっと減少するかと思ったが、頑張っている。

【事務局】 平成22年7月まで標本を販売したが、それ以降は販売を中止した。平成22年度と23年度の比較で売上は減少した。23年度と24年度との比較では若干の減少だった。オリジナル商品の開発をし、売上が減少しないよう努力している。

【会 長】 今年は世界ジオパークの再審査があるが、販売がどこまで許されるのか、という問題がある。ルールに抵触せず、お客さんが欲しがるもので売れるようなものがあれば売ってもらいたい。

【委 員】 入館料の微減について、どんな影響があって減少したのか。

【事務局】 入館者数が増えても入館料が減る原因は、団体客が増えること、減免での入館が増えること、ジオパーク等の視察が増えることが挙げられる。また、ショップのみを利用する方、ふるさと展示室の見学のみの方も要因となる。石の相談も増えている。

【委 員】 学校教育との連携について、リストにある雄志中学校は上越市立だが、学年は6年生や中学生が多いのか。

【事務局】 小学校は理科の「大地のつくりと変化」を学習する6年生が多い傾向にある。中学校は1年生が多い。

【委 員】 上越市の雄志中学校の利用は何年生だったか。

【事務局】 覚えていない。上越教育大学付属中学校の1年生はここ数年来ている。

(2) 協議事項

【事務局】 平成25年度博物館協議会の活動計画、平成24年度事業計画（業務係担当分）について説明。

平成25年度事業計画（学芸係担当分）について説明。

質疑

【会 長】 誘客宣伝について、昨年招待券の配布枚数はどうだったか。今年度、来年度とも観光、キャンペーンをするが、博物館も一緒に行ってはどうか。

【事務局】 昨年、市の観光協会、交流観光課と、首都圏キャンペーンで大宮駅、フジテレビ、埼玉テレビへ同行した。今年も6月19・20日に首都圏キャンペーンに行く。

【会 長】 昨年の配布した招待券の結果はどうだったか。

【事務局】 昨年はポケットティッシュに入館料100円引きのチケットを入れて配ったが、残念ながらそのチケットの利用は無かった。今年はガーデンミュージアムとフォッサマグナミュージアムの無料チケットを入れて配布する計画を立てている。

【会 長】 無料は難しいかもしれない。修学旅行、遠足、バス旅行等を誘致し、フォッサマグ

ナミュージアムを1回見てもらって感動してもらい、何度も来てもらいたい。そのために、何枚発行してもいいではないか。何千枚も発行してほしい。

【委員】 入館者は8月が一番多いが、家族連れが多いのか。

【事務局】 家族連れが多い。化石の採集や、海岸で拾った石を見てもらいに持って来る方が多い。

【委員】 昨年、青年会議所で石拾いのキットを作って配った。自由研究を実施する学校は減ったとのことだが、まだやっている学校もある。お父さんお母さんはそのあたりで悩んでいる。「夏休み、海水浴、自由研究」などのキーワードでPRし、石探しのキットの販売ができれば、入館者数や商品の売れ行きがもっと伸びるのではないかと。ペンションでは、ティッシュのQRコードや雑誌、チラシを見て来るお客さんはほとんどいない。9割のお客さんはインターネットを見てくる。

【事務局】 資料の12ページにあるが、「おもしろみゅーじあむ」の「まなそぼーよ」というイベントは海岸での石探しをメインにおこなっている。キットについては、世界ジオパークの事務局に、標本の販売について、教育的な理由づけがあれば販売できるのか手紙で問い合わせしているが、返事が来ない。

【委員】 拾った石を入れる箱を販売するのはどうか。

【事務局】 販売していいのかどうか、伺いをたててみないとわからない。

【会長】 入れ物は100円ショップで立派なものを売っている。

【事務局】 石の入れ物については石の相談の窓口でアドバイスしている。

【事務局】 ジオパークマスターの店では、ジオパークのルールを守る必要があるため販売できない。

【事務局】 海岸の小さな石は無限にあるし、そのままにしておけば小さくなっていく。それらを活用し、子どもの成長の役に立てることは、私はジオパークの理念に合うことだと思う。しかし、以前、教材としての標本の販売について世界ジオパークの方に直接聞いたことがあるが、ダメだと言われた。

【事務局】 普及活動として行われるような、監視下のもとでの採集については問題ないとのことである。

【委員】 子どもたちについて、幼児が展示物を見られるよう、高さのある展示ケースの前に台を置くことを検討してほしい。台は石で作ってほしい。幼児が見学しやすいと、インターネットの検索でひっきりやすくなる。

【事務局】 最初の建設の時、車いすの方の目線の高さを意識して設計した。

【委員】 入館料の68万円減少について、小さい額では無い。1回見るより2回、多く見てほしい。何回も見学に来てもらえるよう、ひと工夫してほしい。地区公民館の事業にジオツアーが組み込まれている。これは良いことである。行程の中にフォッサマグナミュージアムを入れてほしいと要望したことがある。子どもたちの学習内容として定着しているのではないかと。いずれ子どもたちの学力アップにつながるのではないかと。地域の人たちの地域学習はまだ足りない。旧能生町ではようやく公民館に主事・副主事を置くようになった、旧青海町では来年から主事・副主事を置くようになる。

【会長】 博物館の入館者、入館料は、よそは厳しい状況にあるが、フォッサマグナミュージアムは頑張っていると考えている。東京ではディズニーランドが一人勝ちの状況にあ

る。

【館長】 入館者、入館料について、博物館は教育委員会部局にある。教育機会の提供という意味も含めて、入館料のことより、入館者数の増加、リピーターによる口コミの効果、交流人口の拡大という方向に展開できればと思う。入館料の60万円減より、入館者が6万人を越えたことのほうが意義がある。東京などからのリピーターが多い。リニューアルにあたってリピーターを獲得できるようにしたい。企画展を開催できるスペースを作りたい。

【事務局】 ジオパーク学習について、教育委員会のこども一貫教育の方針や、副読本（3・4年生用、5・6年生用、総合学習用）を作成したことも、定着した要因と思われる。また、野外学習のためのバスの利用、先生方向けの研修もあり、さらに先生方が自主的に研修会を開いている。子どもたちが糸魚川に愛着を持つこと、将来、もし糸魚川に帰ってこなくても、方々で糸魚川のよいところをPRしてくれるような、心の振興ができれば。

【委員】 県外へのPRについて、海との連携をとるため、ジオアートのポスターを追加で作ることがあれば、海底地形を入れてほしい。漁協が喜ぶ。マリンドリームや釣具屋、上越の水族館に置いて販売してはどうか。

【委員】 利用者数は、気候によって変わる。子どもの団体の入館者数は平成22年度と24年度を比べると2倍に増えている。有料入館者は減っているが、近隣の博物館は軒並み減っている。入館者6万人の中身について、学校団体による利用の増加は、博物館の努力と、ジオパークの定着によるものと思われる。東京方面からの学校利用が目立っている。今後の方向性として大事にしてもらいたい。

【会長】 富山方面の学校の利用はどうか。

【事務局】 いくつかある。考古館とのセットでPRしたい。

（3） 報告事項6 博物館リニューアルについて

【事務局】 今後のスケジュールについて説明

質疑

【委員】 リニューアルについて、青海の閉館について、知人から、なぜ閉館するのかと言われることがある。反対運動を起こすようなことを言う人もいる。地域住民への説明をして、青海の標本はフォッサマグナミュージアムで活用することをわかってもらうようにするべきではないか。

【事務局】 市議会の総務文教委員会で説明をおこなったが、市議会全体に対しては説明していない。今年2月に、青海地域の地域審議会で説明し、その後、公民館長会議でも説明した。今後、さらに説明していくべきと考える。

【委員】 青海の閉館について個人的に厳しい言い方で言ってくる人がいる。住民全体に対する説明をして了解を得ることが必要ではないか。

【事務局】 青海自然史博物館が何も無くなるわけではなく、よいところを継承していくことを説明したい。リニューアルのプランができれば具体的に説明できる。1足す1が2以上になるようにしたい。跡地利用のことや、1か所に集中させることで利用しやすく

なることも。

【会 長】 新幹線の南口の情報コーナーは広いので、そこにただパネルを置くだけではなく、青海自然史博物館の標本を置いてもらいたい。

【館 長】 フォッサマグナミュージアムのリニューアルの説明だけでなく、青海自然史博物館の跡地利用のことも含めて、何らかの形で説明したい。

【委 員】 博物館だけでなく、市でやっていると説明しないといけない。青海地域は、黒姫山の石灰岩を地下資源として活用してきた。何か残していかないと市民も納得しない。

【委 員】 梶座委員：途中の段階でも、市民に対して発表していくべきである。そうした方が早い段階でいろいろな意見が出る。情報を提供することで、市民に当事者意識が芽生える。

フォッサマグナミュージアムのどこが評価を受けているのか、なぜ国立科学博物館でも神奈川県立の博物館でもなく糸魚川に来るのか、海なのか、方向性がよいのか、福島に行けなくなったからこちらに来ているのか、その理由を把握するべき。市民向けに情報を出し、市民に当事者意識を持ってもらう、雰囲気作りも重要。

【事務局】 この博物館の最初の建設時に、展示プランの作成の途中の段階で市民に示して意見を求めた。ジオパーク関係では室戸がこの市民と話し合う方式をとっている。

【会 長】 あらかじめ市民のかたの意見を聞いておき、いちいち何か言われて困るようなことの無いようにしてほしい。

【事務局】 最近はいろいろ言われることを恐れるあまり、最終的なプランを報告して承認を受けるだけの会議が多いが、いろいろな方の意見を聞く事は重要である。すぐれた意見までシャットアウトしてしまうのはもったいない。よい意見は言ってきてほしい。

【委 員】 オープンにすれば、意味がわかりにくい意見は市民同士で修正してくれる。

【館 長】 このような進め方を議会からすぐに納得してもらうのは、なかなか難しい。

【委 員】 非公式な形でもいいから、市民に説明をするべき。

【事務局】 業者が会を開いて、市民の方々から意見を聞いてはどうか。

【会 長】 新幹線の開通に間に合わせないといけない。

【館 長】 「市民」という立場で議員の方々から来てもらえばいいかもしれない。

【委 員】 自分たちが知らないうちに、地域を無視した形で話が進むことに対して怒りを持つ人が多い。

【館 長】 行政的には、まず市議会、次に地域審議会、次は公民館の館長会議、という順に、1か月くらいずつ間をおいて説明があるので、市民は自分たちへの説明が遅く、後回しになっていると感じて感情的になる場面が多々ある。できれば一緒に会議ができればと思うが、難しい。今のご意見は良い提案である。検討させていただきたい。

5 その他

(1) 各部会の日程について

【事務局】 各部会の開催日程について、調整する

(2) その他

【事務局】 「石の鑑定」を、「石の相談」に名称変更した。

【事務局】 資料の20ページにあるが、今年の2月頃、名称を石の相談に変更した。

【事務局】 鑑定だと値段の評価もするという誤解が生じるかもしれないので、誤解が生じないように変更した。

【委員】 糸魚川市内に24のジオサイトがあるが、それぞれの地域について学習する機会があってもいいのではないか。梅海新道はツアーのコースにも入っておらず、何があるのかわからない人が多い。それぞれのサイトの第一人者が説明するような機会があってもよい。

【事務局】 それは座学でもいいのか。

【委員】 座学でもよい。

【事務局】 そのような機会があればジオパークの説明のネタも増え、よい。ジオパークを学ぶ勉強会として実施したい。

【会長】 糸魚川駅にある、宮島館長補佐監修のビデオは、長い時間見ている人もいる。24のジオサイトについてビデオを作成したらよい。

【事務局】 それは展示にも使える。

【会長】 第一人者に話してもらえばよい。

【事務局】 先日、橋立金山にジオツアーで行った時、高豊館の礎石がこのあたりに埋もれているかもしれない、掘り出したいという話題が出た。あれだけ大きな石なので、藪の中に埋もれているかもしれない。

【委員】 その可能性はある。今度、ガイドの会から、清水倉のフズリナ化石と、結晶片岩の見学の案内を依頼されている。

【事務局】 各ジオサイトのDVD作成について、ジオパーク推進室に伝えておく。

6 閉会(16:00)

以上